

各関係機関の長 殿

鹿児島県病害虫防除所長

令和4年度技術情報第2号（カンキツのチャノキイロアザミウマ）について（送付）

有効積算温度による成虫の発生ピークの予測は、暖冬であった前年に比べ7～11日遅いと予想されます。例年被害の多いほ場では発生に注意し、防除適期を逸しないよう適切な防除に努めてください。

なお、本情報は、病害虫防除所ホームページ（[www.jpjn.ne.jp/kagoshima](http://www.jpjn.ne.jp/kagoshima)）にも掲載しています。



令和4年度技術情報第2号

1 対象病害虫 チャノキイロアザミウマ

2 対象作物 カンキツ

3 情報の内容

- (1) 発生地域 県本土
- (2) 発生時期 前年比：遅い

4 防除上注意すべき事項

- (1) 第2世代以降の加害が被害につながるため、薬剤防除は第2世代以降の成虫発生ピーク日の10日前から同ピーク日までに行う（表1）。なお、薬剤は各地域の栽培暦や鹿児島県ホームページ掲載の適用農薬一覧を参照する（表2、適用農薬一覧右図）。
- (2) 光反射シートを園内に設置すると被害の軽減が可能で、薬剤散布回数の低減につながる。



5 参考データ

表1 成虫の発生ピーク予測日（5月9日予測）

世代	阿久根		さつま柏原		川内		東市来		鹿児島		加世田	
	本年	前年	本年	前年	本年	前年	本年	前年	本年	前年	本年	前年
1	5/5	4/22	5/7	4/26	5/6	4/23	4/30	4/15	4/23	4/5	4/27	4/12
2	6/4	5/26	6/5	5/29	6/4	5/26	6/1	5/23	5/21	5/11	5/27	5/19

世代	志布志		鹿屋		肝付前田		枕崎		指宿		内之浦	
	本年	前年	本年	前年	本年	前年	本年	前年	本年	前年	本年	前年
1	4/29	4/19	4/29	4/18	4/27	4/16	4/26	4/9	4/26	4/12	4/27	4/14
2	5/31	5/24	5/31	5/23	5/28	5/21	5/27	5/16	5/26	5/17	5/29	5/20

注) 予測は(社)日本植物防疫協会のJPP-NETの有効積算温度計算シミュレーションversion2により行った。

有効積算温度予測に用いた気温は、アメダスの観測値で1月1日を起算日とし、本年5月9日以降は平年値を使用した。

表2 各地域の栽培暦から抜粋した薬剤の一例

薬剤名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数
アグリメック	1000～2000倍	200～700L/10a	収穫7日前まで	3回以内
コテツフロアブル	2000～6000倍	200～700L/10a	収穫前日まで	2回以内
スピノエースフロアブル	4000～6000倍	200～700L/10a	収穫7日前まで	2回以内
トランスフォームフロアブル	1000～2000倍	200～700L/10a	収穫前日まで	3回以内
ハチハチフロアブル	1000～2000倍	200～700L/10a	収穫前日まで	2回以内

注) 農薬の使用にあたっては、使用前に必ずラベルの表示を確認してください。